

## 宮城県放射線・放射能測定実施計画〔概要版〕

### 【背 景】

東京電力福島第一原子力発電所事故被害対策実施計画(平成24年3月策定)に基づき、宮城県、市町村及び国等が実施する放射線・放射能に関する測定について実施計画として取りまとめたもの。なお、状況の変化など必要に応じて更新していくものとする。

### 【目 的】

県内を対象として宮城県等が実施する放射線・放射能の測定を体系的に示しながら、計画的に実施し、その結果を速やかに県民に対して公表していくことを目的とする。

### 【対 象】

県が実施する放射線・放射能の測定を対象とするものとし、併せて国の取組についても体系的に整理するもの。

### 【基本的事項】

#### 1 測定対象

空間放射線量の監視をきめ細かく実施するとともに、食品についても、生産段階と流通・消費段階において放射性物質濃度の測定を実施するほか、多面的に飲食物以外も対象として必要な測定を実施する。

#### 2 測定エリア

県内全域を調査エリアとする。

#### 3 測定体制

県、市町村及び国等が役割分担し、測定する体制を整備するものとする。

#### 4 住民ニーズに対応できる測定

自分の目で測定結果を確認することによって不安を払拭したいという県民のニーズに対応するため、住民の求めに応じて放射線・放射能を測定する体制を維持していく。

#### 5 除染のための空間放射線量測定

汚染状況重点調査地域に指定された市町が行う測定を支援するほか、それ以外の市町村が実施する測定に対して支援していく。また、県有施設の除染に必要な測定も実施していく。

#### 6 情報の発信

県民の不安解消や風評払拭のため、県の放射線・放射能のポータルサイト「放射能情報サイトみやぎ」への掲載をはじめ、報道機関への情報提供などを通じ、迅速で分かりやすい情報の発信に努める。

## 宮城県放射線・放射能測定体系図

放射線量の測定	一般環境	モニタリングポストによる常時監視		
		携帯型放射線測定器等による随時測定		
		航空機モニタリング		
		自動車による走行サーベイ		
	学校・幼稚園・保育所等の校庭・園庭等			
	県民が利用する施設等			
	産業活動に伴う環境や物	工業製品		
		港湾区域		
		コンテナ		
	放射性物質濃度の測定	食べ物・飲み物	水道水	
食品			生産段階	農産物
				林産物
				水産物
				畜産物
			流通段階	一般食品
				乳児用食品
				牛乳
				清涼飲料水
			消費段階	学校給食
				住民対応の測定
自然環境で採取・捕獲する食べ物・飲み物				
母乳				
食べ物を育む環境		農用地土壌及び堆肥		
		きのこ原木、ほだ木、培地		
		海域試料		
		家畜の飼料等		
土壌・空気・水環境等		降下物・浮遊じん		
		土壌		
		公共用水域		
		地下水		
		森林		
県民が利用する施設等		海水浴場の海水		
		スキー場の降雪		
		その他		
産業活動に伴う環境や物		食品加工品等		
		港湾区域内海水		
	下水汚泥等（下水汚泥、下水汚泥焼却灰、汚泥燃料化物）			
	工業用水			
	浄水発生土			